

金山町の象徴でもある大堰周辺のライトアップ



## 「金山町の夜間景観づくり」が優秀賞を受賞

令和2年度「都市景観大賞」景観まちづくり活動・教育部門で「金山町の夜間景観づくり」が優秀賞を受賞しました。

都市景観大賞は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度で、景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」「優秀賞」などが授与され、全国に広く紹介されます。

今回受賞した、「金山町の夜間景観づくり」は平成25年から東京都市大学小林研究室との協働のもと始まりました。街灯にはない温かみを感じる手作りの麻紐を用いたランプシェードを軒先に取り付け、訪れた

人を幻想的な世界へ導きます。路面を明るく照らすのではなく、周辺の景観に灯りを灯すことで、金山らしい景観づくりを行っています。当初は大堰公園だけのライトアップでしたが、徐々に範囲を増やし、きごころ橋、蔵史館、マルコの蔵などの公共施設の他、民家や商店街でも実施しています。ランプシェード作りなどを通し、住民と行政が一体となって行う景観づくりが評価され、今回



の受賞に至りました。優秀賞を受賞したことは、今後の景観づくりをさらに推進していく弾みとなりました。町民の皆さんによる日頃の町内美化運動への協力に感謝いたします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、現在大堰公園等のライトアップは行われておりません。ご了承ください。



①ライトアップされたマルコの蔵  
 ②手作りのランプシェード